

墨染寺ぼくせんじは同所南側にあり。ちやうくわん貞観帝〔せいわ清和天皇〕降誕のはじめに、宝祚祈のため大相国忠仁公だいしやうこくちゆうじんの建て給ひし貞観寺ちやうくわんじの旧地なり。今は法華宗にして、日秀上人開基す。慶長の頃は方丈書院巍々として、秀吉公も御成ありし所なり。

墨染桜すみぞめざくら〔堂の前にあり、件の和歌によりてなづくるものか〕

墨染井すみぞめのゐ〔当寺の門前町もんぜんの西茶店のまへにあり、由来さだかならず〕